



お知らせFROM雑賀幼稚園

R6年9月

9/9
(月)

そうめん流しを行いました



身近にある竹を使って恒例のそうめん流しをしました。麺を入れる器と箸も竹で作りました。未就園児の皆さんも一緒に楽しみました。



9月の誕生会



子どもたちに湖面の白鳥の話をしました。

早朝の宍道湖畔を歩いていると、4羽の白鳥が列をなして泳いでいた。等間隔で一列に並び、湖面をすべるように進む。しばらく行くと先頭が交代。「次はきみが先頭だよ」「ありがとう」、そんな会話が交わされていたのかも。何回かくり返す。

その光景は幼稚園の子どもたちの姿と重なります。`自分が先に、`自分が一番に、そんな姿を見ることがあります。「お先にどうぞ」「かわるよ」と互いに言える関係がいいなと思います。湖面の白鳥のように。

うさぎと子ども

当園ではうさぎを飼っています。名前はふわちゃん、アイドル的存在です。毎日当番の子がうさぎ小屋に餌を置いたり掃除をしたりしています。



ある日のこと。3畳分の広さの庭でいつもは遊んでいるふわちゃんですが、この日は雨のためか寝室の中でじっとしています。ふだん餌は皿に入れて庭の真ん中に置きますが、当番のA児はその皿を、水入れも一緒にそっと寝室の前に移動させました。自然な動作でした。

8/24
(土)

さいかまつり「子ども神輿」に参加



絵本『すみれ島』から

九州の南にある小さな学校。昭和20年春毎日のように日の丸をつけた飛行機が学校の真上を飛ぶ。子どもたちは万歳をさけんで手をふり見送る。ひとりの女の子がすみれの花を航空隊に送ることを思いつく。「せっかくもらった花をちぎってしまって、わるいなと思いがら、花がなくなるまでやりました。(中略)いま、出撃の号令がかかりました。みなさん、ありがとう。ゆうべはほんとうにたのしい夜でした」。子どもの頃を思い出し、隊員たちはすみれの花をからませて引っぱりっこをしていたのです。声をつまらせて隊員の手紙を読みおえた先生は、初めて特攻機のことを子どもたちに詳しく話します。

(『すみれ島』今西祐行 文 松永禎郎 絵 偕成社)

絵本を読み、鹿児島「知覧特攻平和会館」で見た三角兵舎を思い起こしました。特攻隊員たちが出撃まで起居していた場所です。



Coffee Break



5月頃からだったでしょうか、黄緑のベストを身につけ、キャスター付ボックスを持ち歩く人たちが、各家を回っているのを見かけるようになりました。土地家屋調査士の人たちです。

30度を超える暑い日に当園を訪れた調査士は、竹林の中や周辺を調査。外に立っているだけで苦痛を感じる中、仕事とはいえ大変だろうなと思いながら、少しの時間一緒に回りました。

7月初め、大雨の中、これまでの調査の確認を頼まれ、約1時間周辺を歩きました。予め約束はしてあっても、「大雨警報が出ている中でやるの」と気持ちが向かなかったのが、正直なところでした。しかしいざ回り始めると、一つ一つ丁寧に説明する2人の姿に雨が服にしみるのも苦になりませんでした。何度か顔をかわせている2人のプロ意識と誠実さが伝わってきました。



園児募集

雑賀幼稚園

広い園庭・たけのこ山がある森の幼稚園



さいかようちえんの特徴

預かり保育の実施

【一時預かり】

14時～17時

【預かり保育】

8時～8時40分

14時～18時

【長期休業中】

8時～18時

週3回の弁当給食

管理栄養士監修の
弁当給食はとても
好評！



たけのこ山との共生

園内にあるたけのこ山
は子供たちの格好の
遊び場。1年を通して
四季を感じ、本物の
自然に触れ合える貴重な
体験が3年間できるのは
人生の宝物

雑賀幼稚園
松江市雑賀町850

☎ 21-3542

見学随時受け付けています。



幼稚園90秒
PR動画